

こんにちは! 社協です!!

ふれあいネットワーク

2016
11月
No.137



特集 P2・3

12月1日
～31日

みんなでささえあう
あったかい地域づくり
～歳末たすけあい運動～



ひ孫と
いっしょ

山崎町 東鹿沢 シリーズ136

やました せいこう
山下 晴康さん(94歳)

ふくえ
福枝さん(87歳)

ゆうせい
○勇誠くん(2歳)

やました きりょう ゆうこ
山下 祁亮さん・裕子さん

■長男



12月1日
～31日

みんなでささえあう あったかい地域づくり



今年度も12月1日(木)から「みんなでささえあう あったかい地域づくり」をスローガンに全国一斉に「**歳末たすけあい運動**」が実施されます。
 宍粟市社会福祉協議会(以下、本会)では、皆様からお寄せいただいた募金を活用し、歳末ならではの地域福祉活動に取り組みます。
 今号は、歳末たすけあい運動についてお知らせします。

歴史と共に歩んできた 歳末たすけあい運動



「歳末たすけあい運動」は、支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、市民の皆様のご理解やご協力を得て、新たな年を迎える時期に、様々な地域福祉活動を展開するものです。

この運動は、1906年(明治39年)に大阪毎日新聞が「歳末同情募金」を集めたのが始まりとされています。その後、方面委員(民生委員の前身)が中心となり、全国的に「歳末同情募金」を募り、義援金品の配布を行っていました。
 元々は、共同募金運動とは別の取り組みでしたが、厚生省が

昭和34年に通知した「昭和34年度共同募金運動について」により、歳末たすけあい運動は、共同募金運動の一環として取り組まれるようになりました。

みなさんのあったかい 気持ちををお願いします

本会発足後、支援対象の方々への激励金やお見舞金の支給を見直し、75歳以上のひとり暮らし世帯の方を対象にした、社協カレンダーの配布や歳末特別給食サービスの実施など、民生委員児童委員等の協力を得ながら取り組んでいます。

そして、これらの事業を実施するための資金として歳末たすけあい募金を充当しています。

今年も、自治会関係者の皆様ご協力を呼びかけて下さいます。どうかこの趣旨にご理解をいただき、あったかいお気持ちをよろしくお願いします。

(地域支援課長 波多野好則)



毎年12月30日に「歳末特別給食」をお届けしています(H27.12.30)

歳末たすけあい募金にご協力ください

歳末たすけあい運動



次の事業を行うため、366万円を目標に募金を集めます。みなさまのあたたかいご協力をお願いします。お寄せいただいた募金は、趣旨にそって有効に活用します。

歳末特別給食サービス ※1



75歳以上のひとり暮らし世帯の方へ、12月30日にお弁当をお届けします。(昨年度実績 476食)

赤い羽根あったか灯油配達サービス ※1



75歳以上のひとり暮らし世帯の方へ、灯油(18ℓポリ容器2個分)をお届けします。(昨年度実績 238件)

※1 対象者で希望される方は「特別給食」と「灯油配達」どちらかのサービスが選択できます。

カレンダー配布サービス

75歳以上のひとり暮らし世帯の方へ、大きくて見やすいカレンダーを民生委員児童委員さんを通じてお配りします。(昨年度実績 774名)

新入学児童ランドセル購入助成事業

募集中! 締切 2/28



平成29年4月に小学校へ入学の子どもさんのおられる一人親家庭、両親ともおられないご家庭に、ランドセル購入費用の一部を助成します。(昨年度実績 15件)

サンタクロース派遣

クリスマスの催しをされる市内の保育園、幼稚園等を対象にサンタクロースを派遣します。(昨年度実績 8か所)

★サンタボランティアを募集中です。子どもたちに夢を届けませんか?

実施期間
12/25
まで



赤い羽根こども劇場

子どもたちが児童劇を楽しむ機会を提供します。(8項参照)

雪かきボランティア事業 ※2

豪雪時の雪かきボランティアを募り生活支援を行います。(6項参照)

※2 「雪かきサービス」は、今年度から取りやめとしましたので実施いたしません。

買い物送迎バス「お出かけ号」の運行

お住まい周辺に商店がない地域で買い物等に不自由を感じておられる方々を、商業施設等へ送迎を行います。(山崎町小茅野・波賀町北部地域)



宍粟市共同募金委員会 宍粟市社会福祉協議会
宍粟市一宮町閭賀300 ☎72-8787

や

まさき

「話し合う場」が大切やね

岸田ふれあい喫茶スタッフが学習

10月19日(水)
岸田ふれあい喫茶
のスタッフ10人が
集まり、岸田公民館
で学習会が開催さ
れました。

岸田ふれあい喫
茶は、福祉委員をは
じめボランティア
18人がスタッフと
して活動し、年間4
回開催しています。
この日は、地域
の現状や見守り活
動を勉強しようと
スタッフ会議を
学習会に変え話
し合いをしました。

学習会では、岸田をど
んな地域にしたいか話し合
い、社協の生活支援コー
ディネーターが「ふれあい
活動からはじめる地域づく
り」について説明し意見交
換を行いました。
参加者は、ふれあい喫茶
の大切さを再確認し、日頃
から見守りの意識を持ち、
支援が必要な方への「支え
合いの仕組み」を住民みん



「明るくて希望あふれるような地域」「やさしくあたたかい
安心して暮らしていける地域」等の意見が出ました。
(岸田公民館)

なで考えることの大切さを話
し合いました。

安川英美子代表福祉委員は、
「こつやつて話し合う場が大
切。困っていることが気軽に
言える信頼関係を地域の中に
作っていききたい」と話されま
した。

社協では、各自治会で、こ
のような学習会を通して、住
民みんなで地域づくりについ
て考える機会を、生活支援コー
ディネーターが中心となりお
手伝いしていきます。

(山崎支部 山本めぐみ)

い

ちのみや

何十年ぶりの買い物に笑顔!

デイサービスで買い物レク

10月24日(月)、やすらぎ介
護センター(社協)のご利用者
25人がAコープいちのみや店
へ買い物に出かけました。

これは、「買い物レクリエー
ション」と言って、買い物を通
じ、生活動作として体や指先、
脳の機能訓練に役立てるのがね
らいです。また、色々な商品
を見る楽しさやレジの人と言葉を
交わしながら支払いをすること
で、社会性を維持することにも
役立ちます。

お店に着くと、買い物カゴ
を片手に介護スタッフと店内
を回り、孫や嫁さんの土産にと
大福もちやおじいさんの酒の
肴にとカレイの煮つけなどを
買われていました。

ご利用者からは、「いつもは
若いものに頼んで買ってきて
もらうけど、自分で買えてうれ
しかった」「何十年ぶりに買い
物に来たやろなあ」など喜び
の声がきけました。
買い物レクを企画した担当



おまんじゅう・お菓子・パンなど… お会計は490円です!

者は、「普段見られない笑顔に
出会え充実感を得ました。さら
に地域と繋がりをもち、開かれ
たデイサービスを目指したい」
と熱く語ってくれました。
高齢になると、外出の機会
が少なくなりがちです。社会参
加を促すことが出来る「買い物
レク」は今後期待される取り組
みといえます。

(二宮支部 春名章宏)

や・い・は・ち トピックス

万が一の災害に備えて

安賀自治会自主防災訓練

「緊急放送。自治会内で大規模な土砂崩れが発生しました。」

10月30日(日)午前7時55分、安賀自治会内に緊急訓練放送が流れました。

この日は、同自治会の自主防災訓練です。放送直後、隣保ごとで定めている一時避難所集まり、隣保長が人数や負傷者を確認し、自治会長に報告。そして負傷者を車イスや担架に乗せて避難所となる公民館に移動しました。

安賀自治会ではこの自主防災訓練を平成23年から毎年実施しています。そのため地域のみなさんにも避難場所や緊急時の動きが浸透しており、訓練はスムーズに行われました。

福澤隆行自治会長は「災害時は地域、近所同士での助け合いが力ぎとなるので、自主防災の取り組みがとても大切です」と話されました。

4月には熊本地方で、10月

には鳥取県中部において大きな地震が発生するなど、改めて災害はいつ起こるか分からないと痛感した方も多いのではないのでしょうか。

万が一の災害に備えて、安賀自治会のように緊急時にどう動くのか地域の中で確認し、日頃から訓練を積んでおくことが必要だと改めて感じました。

(波賀支部 田中祥仁)



子どもが負傷者役になり、手作り担架で避難所へ運びます

独身男女が鷹巣の秋を満喫

たかのす ピザ であいつアー

10月30日(日)、たかのす東小学校(旧千種東小学校)を会場に「たかのすピザであいつアー」が行われ、独身の男女29人が出会いを求めて東小学校に集いました。

今年で2回目となるこの催しは、鷹巣で大きな課題である地元未婚者の結婚を推進するため、空校舎で婚活イベントを行いたいとの思いから実現したものです。

出会いの場をつくるにあたり、鷹巣活性化委員会や宍粟市地域おこし協力隊を中心に準備が進み、社協の職員や結婚相談員も企画段階から協力しました。

自己紹介タイムから始まり、ピザ作りでは、グループごとにいろんな食材をのせた生地が専用の石釜で焼き上がり、オリジナルピザが完成。

「飲み物は何にされますか」

「焼きたては美味しいね」と、ピザとワインで会話がはずみ、薪割りや自然散策など鷹巣の秋を満喫しました。

最後に、この人と思う名前をカードに記入し(フアイナルインプレッション)、結果3組のカップルが成立。「お願いします」とお互いに握手を交わし、温かい拍手が送られました。

今回も、地元スタッフの頑張りに、社協が取り組む結婚相談のノウハウを活かすことで、独身男女の出会いの場をつくることが出来ました。

(千種支部 波多野好則)



自己紹介のあとはバーベキューハウスでピザ作り(たかのす東小学校)

はが

ちくさ

宍粟市ボランティアのつどい ～災害時、あなたならどうする?～



昨年の様子

宍粟市ボランティア連絡会では、市内で活躍するボランティア同士の交流を目的に「宍粟市ボランティアのつどい」を開催します。

今年は、『防災』についていっしょに考えます。みなさん、ぜひご参加ください。

日 時 11月30日(水) 午後1時～午後3時
会 場 一宮保健福祉センター(一宮町間賀300)
内 容 ・熊本地震リポート
・災害対応カードゲーム「クロスロード」
対 象 市内でボランティア活動をしている方
ボランティア活動に関心のある方
△問合せ：各支部

豪雪時の 雪かきボランティア

登録者募集!

この冬大雪が降り、高齢者や障がいがある方の生活に大きな影響が生じる場合に備え、社協では「雪かきボランティア」の登録者を募集しています。

積雪時、高齢者や障がい者の生活を守るこの活動にご協力ください。



登録者 高校生以上で健康な方

登録募集(活動)期間

平成28年12月1日(木)～平成29年2月28日(火)

登録から活動までの流れ

- ① 登録用紙に記入いただき、申込みをしていただきます
- ② 雪かきボランティアによる支援が必要となった時に、登録者に連絡し、雪かき支援チームとして活動に取り組みます

問合せ 本部 ☎ 72-8787

この事業は、歳末たすけあい募金を活用し実施します。

要約筆記ボランティアに 参加しませんか



要約筆記とは、聴覚に障がいがある人のために、その場で話される内容を即時に要約して文字にすることです。

「OHPLしそ」では、講演会などでパソコンを使って要約した内容をスクリーンに映したり、行事に参加してノートテイク(手書き)で内容を伝えるなどの活動をしています。

初めての方でも大丈夫。グループで学習会をしていますので、一度見に来ませんか。

【主な活動は】

- ・講演会等の要約筆記
- ・難聴協会、身障協会行事で交流等
- ・学習会(第1・2・4(土)AM、第3(水)PM 宍粟防災センター)

△問合せ：山崎支部 ☎ 62-5530

豪雨水害を想定 災害ボランティアセンター 開設訓練を実施



30分で災害VCの設置が完了

11月6日(日)、宍粟市で豪雨水害発生を想定した「宍粟市総合防災訓練」が千種中学校を会場に行われました。

本会では災害ボランティアセンター(=以下災害VC)の開設訓練を行い、本会が策定している『災害救援ボランティア活動支援マニュアル』に沿って災害VCを設置しました。

災害VCでは、ボランティアの登録や福祉避難所からの要請によりボランティア派遣を行うなど、災害対策本部と連携して取り組みました。

今後も継続した訓練の実施やボランティアの養成等を行い、緊急時、迅速に被災者支援活動に取り組める体制の整備を進めていきます。

(波賀支部 田中祥仁)